

こもれび

夏

第10号

発行: 2006年7月1日
向陽台病院広報委員会



▲ 向陽台病院のある植木町の名所の1つ「小野泉水」

季節の花

CONTENTS

- 「障害者自立支援医療」Q&A
- 地域連携
- 病気のお話「アスペルガー障害とは」
- デイケアイベント情報
- 地域の声「入船市場 店長」



禊萩（みそはぎ）

「みそはぎ」の名前は「みそぎ（水を注いで悪魔を払うこと）はぎ（萩）」を略したもの。旧暦のお盆のときに、ミソハギの枝を水に浸して仏前の供物に禊ぎ（みそぎ）をしたそうです。

「障害者自立支援医療」Q&A



前は障害者自立支援法がどういふ法律か、生活にどのような影響があるのかお話ししました。今回は障害者自立支援医療の中から、さらに質問が多かった事項についてお答えしていきたいと思ひます。

Q 初めて自立支援医療費の手続きをしましたが、いつから適用になるのでしょうか？

A:申請窓口は居住地の市町村です。この場合新規申請となりますが、認定されれば市町村受付日から適用となります。

Q 有効期間は1年間あるようですが、更新手続きはいつからできるのでしょうか？

A:有効期間満了後も引き続き自立支援医療費の受給を希望される場合(更新)、有効期限の3カ月前から継続申請することができます。

Q 月額負担上限額を変更したいときや医療機関を変更したいときにはどのような手続きをすればいいのですか。

A:変更手続きが必要です。変更届に必要な書類を添付して、市町村窓口へ提出します。変更の開始日は、月額負担上減額は県が認定した日の翌月の初日、医療機関の変更は県が認定した日からとなります。変

更手続きは、速やかに行われた方がよろしいかと思ひます。

ご不明な点などございましたら、市町村窓口や当院の精神保健福祉士までお気軽にお尋ねください。

(リハビリテーション部 主任
精神保健福祉士 岩井 佑美)

ひとくちメモ 「自立支援医療費」とは

平成18年4月1日から、障害にかかわる公費負担医療(精神通院医療、更生医療、育成医療)が、自立支援医療費に変わりました。自立支援医療を受けられるのは、従来の公費負担制度の対象者と同様の疾病を有する方(一定所得以上の方を省く)です。基本は一割の定率負担となりますが、低所得世帯の方だけでなく、一定の負担能力があっても、継続的に相当額の医療負担が生じる人々(※“重度かつ継続”にあてはまる方)にもひと月あたりの負担に上限額を設定されています。※重度かつ継続に該当する疾患については、市町村窓口や当院の精神保健福祉士までお尋ねください。

なでしこ

病院の茶畑で...

立春より八十八夜の5月2日ごろから、農家はお茶摘みを開始し忙しくなり、夏を迎える準備を整えます。向陽台病院の畑にもお茶畑があるのをご存知でしょうか？私が入職前からあり、お茶摘みは病院の恒例行事だったそうです。一昨年より、地域生活支援センターなでしこが主催でお茶摘みを行うようになりました。

今年は5月5日(金)に、なでしこ利用者をはじめ、当事者会の若葉会メンバー、向陽台病院の患者さんと職員総勢64名の参加でお茶摘みを行いました。当日は、晴天に恵まれ、時々吹く風もあり、気持

ちの良い爽やかな日でした。初めてお茶摘みに参加した方や、「数年ぶりにしました」と嬉しそうに話される方などで、「どこを摘んだら良いのかな?」「少し葉が小さいな」と話しながら楽しく作業が行えました。今年は寒い日も続いたためでしょうか？お茶の葉の育ちが良くなかったようです。

最後は、なでしこで用意したお汁粉をいただきました。ちょっときつい作業の後に食べる甘いお汁粉は大変好評!ごちそうさまでした。

ちなみに、収穫量は10.2kgにもなりました。収穫した茶葉は早速、



製茶工場に運び、製茶してもらいました。お茶は病院やなでしこでの食事の時に振舞われました。来年も楽しくお茶が摘めるように茶葉の成長を期待しています。

(生活支援センターなでしこ
副施設長 須藤 史朗)

城北大会に参加

4月26日、植木町総合スポーツセンターで春季城北スポレク大会が開催されました。向陽台病院、菊池有働病院、山鹿回生病院の3病院合同でのグランドゴルフ大会です。向陽台病院から参加者16名、応援者6名の患者さんが参加しました。

今年は向陽台病院が担当であったため、日時、会場設定など多くのことを行わなければなりませんでした。

前日は天候良く、選手の方は練習を行い本番に向けての準備をしていましたが、天気予報では雨の予報であり、当日は朝から曇り空が広がっていました。

送迎の時間、皆さまは早くから病院玄関前に集合していました。そんな皆さまの楽しみにしている表情を見ると「終わるまでは雨がふりませんように」と願う気持ちでいっぱいでした。2台の車で2回に分かれ目

的地を目指し出発しました。到着すると他の病院の方々も到着しており、皆さま緊張している様子でした。

チーム分けは、3病院から各2名ずつに分かれての混合チームとなりました。他病院も早くに集合でき、雨天が心配されることもあり、時間を早めにずらしての開始となりました。開会式では当院副院長の田中よりあいさつがあり、午前の部が始まりました。開始時はやや緊張気味に皆さまプレーされていました。ゲームが進むうちに周囲からの声援や歓声も大きくなり、次第に緊張もほぐれ笑顔が見られるようになりました。午前の部が終盤に近づくにつれ雲行きが怪しくなりポツポツと雨が降り出しました。各チームの試合が一巡したところで雨足はさらに増していました。各病院スタッフで話し合った結果、今回の大会は午前の部で終了とすることを決め、

急遽午前^{きゅうきょう}の部での結果発表となりました。優勝、準優勝、3位、特別賞で多くの選手が表彰されました。

表彰式終了後は雨が降る中、栄養課が準備したお弁当を食べました。あいにくの天気でしたが普段と違うお弁当に皆さま満足しているようでした。

今回の城北大会は雨天により午前中で終了となりましたが、皆さまのご協力のもと、スムーズな流れで開催でき無事に終了することができました。これもご協力いただいた参加者の方や関係者の方々のおかげであります。来年度も楽しんで参加できるよう、より充実した大会にできるよう皆さまのご協力をお願いいたします。

(作業療法士 田中 麻莉)

なでしこ

若葉会との交流会

若葉会とは、鹿本きぼうの家に通っておられる方を中心に、9年前組織された精神障害者当事者会です。若葉会と向陽台病院のデイケアメンバーとの交流会は、親睦を図ることを目的に5年前から始まりました。3年前に地域生活支援センターなでしこが開始してからは、窓口となり3団体の交流を図ることを目的に行っています。

今年に入り始めての交流会として、ミニバレー大会を5月3日水曜日に植木町総合体育館で行いました。若葉会から5名、デイケア、なでしこから17名の参加があり、若葉会で1チーム、デイケアとなでしこで3チ

ーム組み、総当たり戦を行いました。デイケアのメンバーが進行を務めていましたが、審判などは、若葉会の方も率先してされていました。

若葉会は、熊本県下の作業所ミニバレー大会で、5連覇を達成しているほど強いチームです。デイケアのメンバーも勝ちたいと望みながらも敗れてしまいました。しかし、休憩時間中は和気あいあいと会話が弾んでいました。

若葉会の方に、どうやって強くなったのかを尋ねてみると、「昔は、向陽台病院のデイケアのメンバーが強くて、毎回負けていました。しかし、地域でもバレーのコーチをしている



山鹿回生病院の職員に、毎週土曜日コーチを受けたリ、作業所の外にあるミニバレー用のコートで、毎日試合をしたりしているうちに、徐々に力がついてきたのだと思います。今の目標は作業所の大会で6連覇することです」と、いきいきとした表情で話されたのが印象的でした。

交流会は年に数回行われています。

(地域生活支援センターなでしこ 精神保健福祉士 湯川 聡)

アスペルガー障害とは？

発達障害の1つであるアスペルガー障害は近年、メディアなどでも取りあげられるようになり名前だけは聞いた事があるという人も多いのではないのでしょうか。さて、アスペルガー障害は1944年にハンス・アスペルガーによって発見されましたが、長い間注目を集める事はありませんでした。しかし研究が進む中、90年代に国際的診断基準に登場するようになった病気なのです。では、アスペルガー障害の特徴について記す前に発達障害について少し説明し、内容に入っていきます。



4

生を受けてから誰でも日々少しずつ成長発達していきます。発達の内容は大きく2つに分けられます。1つは肉体の発達、もう1つは精神の発達です。発達障害と呼ばれるグループは、肉体の発達には大きな問題はないのですが、精神の発達が正常な発達と異なると考えられています。では精神の発達とはなんのでしょうか。精神の発達は2つの軸で考えると分かりやすいです。軸の1つは「認識の発達」であり、もう1つは「関係の発達」です。

認識の発達は、周りの世界をどのように理解していくかという事。

関係の発達は、周りの世界とどのようにかわっていくかという事です。

どちらもあまり発達しない場合は、狭義の自閉症です。関係の発達はある程度育ちますが、認識の発

達がなかなか育たないと精神発達遅滞(程度はさまざま)です。

今回のアスペルガー障害は認識の発達は平均的、あるいは平均以上に発達する一方で、関係の発達が平均以下の状態にある人達を指しています。例えば「学校で試験などをする分には、成績も十分良い(認識の発達は普通以上)ですが、言うべきではない時に突拍子もない事をズケズケと言ってしまう(関係の発達が育っていない)人」などです。このアンバランスさが周囲には異様に映り「知識は普通にあるのに何でこんな事を言うのだろう」などと思われやすいのです。このような特徴の他に、

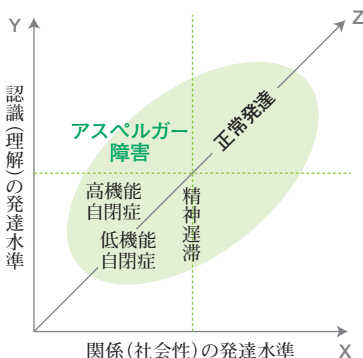
- ①集団行動が苦手
- ②突然のスケジュール変更で大混乱する
- ③冗談が通じにくい
(字義どおり受け取ってしまう)
- ④仲が良い友達にも敬語で話すなど、場面で言葉を使い分けられない
- ⑤相手の気持ちを読む事が極端に苦手
- ⑥興味がある対象については驚異的な知識を持っている
(自分の世界への没頭)
- ⑦不器用
などがあります。

これは特徴であり、望んでそうなっているわけではないのですから、本人たちも人とうまく関係を築けなくて苦しく、トラブルばかりの自分に苛立ちを募らせやすいのです。その苛立ちから自分を傷つける行為をしてしまう人、あるいは人との関係を絶ってしまう人もいます。思春期などは特に冗談を真に受けたりするため、周囲からカラカイの対象になり、激しいイジメを受ける事があります。その一方で、興味の対象に没頭するため、研究の世界などで世界的な権威になる人もいます。

向陽台病院では生育歴や心理検査などから本人の特徴を把握し、自分自身の特徴を知ってもらう事(特徴を知る事で客観的に自分を見る事ができます)、家族や学校にも特徴を知ってもらい協力してもらう事などを行っています。あるいは、上手いかなかった実際の場面を取りあげ、どう行動すれば良かったかを共に学習し、少しでも生きやすくなるように援助しています。

当院では思春期発達障害外来を毎週金曜日午後に関催しております。少しでも心配のある方は地域連携室(096-272-5250)までご連絡ください。お待ちしております。

(臨床心理士 濱本晋也)



デイケアイベント情報



3月29日熊本城
二の丸公園へデイ
ケアメンバー26名、
公用車と産交バス
の二手に別れてお
花見に出かけまし
た。久しぶりにバス
に乗るメンバーも多
く、公共機関の利
用に戸惑いを見せ



るメンバーもいましたが、スムーズに
乗降できました。当日はあいにく風
が冷たく肌寒い日ではありましたが、
到着後は二の丸公園をゆっくり
と散策したり、フリスビーやバレーボ
ールを楽しんだり、美術館巡りと
各々楽しい時間を過ごせたのでは
ないかと思います。お昼になると待
ちにまったお花見弁当が到着し、満
開の桜の下で食べるお弁当に「お
いしいね」「彩がきれいだね」と話も
弾みました。事故もなく、いつものデ
イケアとは一味違った春の日を過
ごせたと思います。

(デイケア 看護師 松本千代美)

UX、【 V

皆さん「ベンチャー」と聞いてな
んだらうと思う方も多いとは思いま
すが、当病院のデイケアでは毎週
水曜日の午前中にベンチャーと題
した活動を行っています。現在は
思春期・ヤンググループ(10代～約
30代前半)で取り組んでいます。ベ
ンチャーとは英語では「危険なくわ
だて」という意味ですが、当病院で
は自分たちで食べ物を作成・販売
し、その利益で自分たちのやりたい
事を行おうというコンセプトで、楽し

みながら就労前の経験や達成感
の獲得・対人交流などが図れれば
と考えています。販売は病院職員
を対象に昼食に合わせて、そうめ
ん・ホットドッグ・ハンバーガーと行い
ました。

詳しい活動内容は、スタッフ・メン
バーでミーティングを行い、メニュー
の検討から実行まで共に考えなが
ら行っています。ミーティングと聞くと
きつそうなイメージですが、ゲーム
などのウォーミングアップを行い、楽
しい雰囲気の中で行おうと心がけ
ています。その雰囲気の中で、実
行に至るまでのタイムスケジュール
や試作品作成、ポスターや食券の
作成などさまざまな事をみんなで考
え、メンバーの中から実行委員も選
出したりもしています。昨年8月にそ
うめん販売を行い、そのころは手
順・段取りに全員で試行錯誤し、本
番も慌しく行った事を覚えてい
ます。しかし、大変だっ
ただけにやり遂げた時の達成感
を皆で感じる事ができ、参加メン
バーの中からも「楽しかった」、「また行
いたい」などの意見も聞かれました。
その後、12月にホット
ドッグ、3月にハンバーガ

ーを行いました。回数を行うごとに、
前回の改善点などを修復し、徐々
にメンバー・スタッフ共に段取り良
く行えるようになったと思います。
今年5月には、売り上げで漫画を購
入し、デイケアメンバーで読めるよう
寄贈しました。

現在に至るまで参加メンバーの
入れ替わりもありますが、慣れたメン
バー・新しいメンバーで相互交流を
図り、それぞれに合った役割を取り
行えていると思います。また、さま
ざまなメンバーからの意見で私たち
スタッフも成長できていると思います。

今後もスタッフ・メンバー共に成長
しながら、ベンチャーという活動を楽し
しく、より良いものにしていければと
思っています。次回の「危険なくわ
だて」にご期待ください。

(デイケア作業療法士 田上慎也)



入船市場店長 山田 雄久氏に聞く!

地域社会の一員を意識する当院が「病院内部からの声だけではなく、地域からの声を聞き、それを病院の今後に反映させたい」と始めたこの企画。

第2弾は、競争が激しく、常に成長を求められている食品市場であり、当院の患者さんも数多く利用している入船市場の店長(山田雄久氏)にお話をうかがいました。



濱本:入船市場ができてから10年目を迎えられ、介護関係・病院・盲学校といった障害を抱えた方や、軽い症状をもたれている方の研修を受け入れられているようですが、いかがでしょうか。

山田氏:スタッフが、研修者に説明をする中で仕事のやりがいを感じ、自分たちの存在価値を見出す。研修を受け入れる中で、スタッフも新しい自分に気がついていくという循環が生まれているようです。

濱本:入船市場では「食」に強いこだわりを持たれているそうですが、具体的にどのようなところでしょうか。

山田氏:私たちは「食」を通じてお客さんとコミュニケーションを持っていきたいと考えています。

第1に仕入れ段階へのこだわりがあります。鮮魚や野菜は、より新鮮な食材を求めて2カ所の仕入れ場に出向きます。コストは掛かりますが、おいしく、鮮度の良い安心でできる食材を提供しています。

入船市場では店頭に並ぶ食品に「物語」が存在します。どのような人が育てた野菜であるのか。店頭に並ぶまでにどのような経過をたどったのか。物語が食品と一緒に店内に示されているのです。

入船市場では仕入れ段階でお客様の顔が浮かんでいきます。あのお客様に食べてもらいたい、あの店で料理をしてもらった方がいいのではないかと。

濱本:商品の先にいる個々人を意識した結果なのですね。

(病院も同じで、疾患名の前に個々人がいます。それを改めて意識しました。患者さんではなく、〇〇さんなのです)

山田氏:食育にも強くこだわっています。まだテスト

ケースではありますが、中高生が職場体験で来た際に1反程度の畑で食物を育て、それを入船市場で販売するという事を行っています。

濱本:「お客さん」という立場から「生産者」の立場、そして「販売者」の立場へと変化する中で得られる「もの」を提供しているのですね。

取材を終えて

店長の言葉で印象に残っているものがいくつかあります。

①売りたいと思うものではなく、食べてもらいたいと思うものを仕入れる。

②相手あつての商売、お客さんが求めているものを提供できなければ独りよがりである。

これは、地域の中で単に生き残るだけではなく、類似する他者との区別を明確にしつつ生き残るための言葉だと感じました。業種は違っても、それぞれの「物語」があることに改めて気づきながら帰途についたのでした…。

インタビュー:臨床心理士 濱本 晋也
写真:栄養士 中山 裕子



こもれび・ぷらざ

向陽台病院ではさまざまな情報を発信しています

そよ風

平成18年4月22日、向陽台そよ風家族会の総会が向陽台病院の新デイクア棟活動室にて開催されました。当日は悪天候にもかかわらず、18名の方が参加されました。総会では家族会会長のあいさつに始まり、昨年度の経過報告と今年度の計画について話し合いを行いました。総会の後には、家族の集いが行われ、病院の意見箱に「家族会について」の意見が入っており、それに対する意見交換から始まりました。家族の悩みを語れる場にしたいなどの意見が出て、今後の家族会のあり方について改めて考えさせられました。その後は、家族が抱えている不安や悩みなど、涙ながらに発言される方もおられ、それに対して他の家族が声かけをされ支え合う場面があり、とても充実した時間だったのではないかと感じました。今回の総会に参加し、家族会本来の姿を見てより一層の発展が必要だと感じました。

家族会では、ご家族の不安や疑問に少しでも支えになればと活動しています。ご家族の皆さまのご参加をお待ちしております。

(事務 鎌田 修彦)

■ 次回家族会の予定:講演会(内容は未定)

平成18年7月22日(土) 10:00~12:00

■ 平成18年度 向陽台そよ風家族会活動計画

総会	4月22日	新デイクア棟活動室
講演会	7月22日予定	新デイクア棟活動室
夏祭り	8月予定	院庭
懇親会	9月23日予定	新デイクア棟活動室
文化祭	11月予定	向陽台病院内
新年会	平成19年1月27日予定	新デイクア棟活動室
講演会	平成19年1月27日予定	新デイクア棟活動室

栄養だより

食中毒に注意しましょう

気温も湿度もあがるこの時期、夏バテも怖いですが食中毒の多発する時期です。次のポイントに気をつけて食中毒を防ぎましょう。

食中毒予防三原則

① 食中毒菌をつけない

- 料理をする前、食事をする前などは手洗いをしましょう。
- 肉や魚を切ったまな板や包丁で、他の食品を処理しないようにしましょう。使った後は、洗剤でよく洗いましょう。熱湯消毒などは効果的です。

② 食中毒菌をふやさない

- 食品は賞味期限などをよく見て購入し、購入後はすぐに冷蔵庫や冷凍庫に保管しましょう。常温で食品を長い間放置しておくと、食中毒菌が増える原因となります。
- 冷蔵庫内では、肉と野菜が一緒になっていたりしないように分別して保存しましょう。
- 冷蔵庫への食品の詰めすぎは、よく冷えない原因となります。

③ 食中毒菌をやっつける

- ほとんどの食中毒菌は加熱により死滅します。(一部の細菌を除く)食品は中心部まで十分に加熱をしましょう。

旬

の食材

魚介類

アユ、スズキ、甘鯛、キス、真アジ、イワシ、ウナギ、サバ、まだこ、するめいか

野菜・果物

グリーンピース、南瓜、オクラ、いんげん、胡瓜、茄子、トマト、とうもろこし、ピーマン、梅、スイカ

これからの予定

- 7月 …… バイキング
…… 土用の丑の日 (ウナギ丼を予定しております！)
- 9月 …… バイキング
…… 十五夜 (お月見まんじゅうや月見ゼリーを用意しております)
…… 彼岸入り (おはぎを用意しております)



編集後記

毎度、編集後記に書く内容で浮かんできものが一緒(=締め切りに追われバタバタ)で、自分の成長がなかなか感じられませんが、こもれび自体は号を重ねるごとに少しずつ内容が濃くなっているのではないかと考えています。今後は新しい企画なども考え、内容の充実に努めていきたいと考えております。(濱本 晋也)

外来担当医一覧表

	月	火	水	木	金	土
午前	松岡 大石	田中 松本	横田 松岡	田中 大石	横田 松本	菊岡 週替わり
午後 予約	中林	津田	今井 物忘れ外来 大石	松岡	田中(佐藤) 思春期外来 横田	

- 診療科目 精神科・心療内科
- 特殊外来 水曜日午後：物忘れ外来
金曜日午後：児童思春期（発達障害）外来
- 病床数 220床
- 外来診療時間

※新たに当院を受診される方は午後4時までに事前連絡のうえ、来院ください。

月～金曜日 午前9時40分～12時00分
午後2時30分～ 5時00分
土 曜 日 午前9時40分～12時00分

祝日は平常通り診療しています

向陽台病院の理念

主体性を育む病院

援助者としてのチーム医療を行う病院

地域社会の一員を意識する病院



当院では平成8年から、のぞえ総合心療病院（福岡県）の治療共同体理念をモデルにしています。



産交バス
向坂バス停から
徒歩3分
明治乳業バス停
から徒歩3分

車
植木ICから10分

JR
植木駅下車
タクシーで6分



医療法人横田会 向陽台病院 <http://www.koyodai.or.jp/>

〒861-0142 熊本県鹿本郡植木町大字鎧田1025
TEL: 096-272-7211・FAX: 096-273-2355